

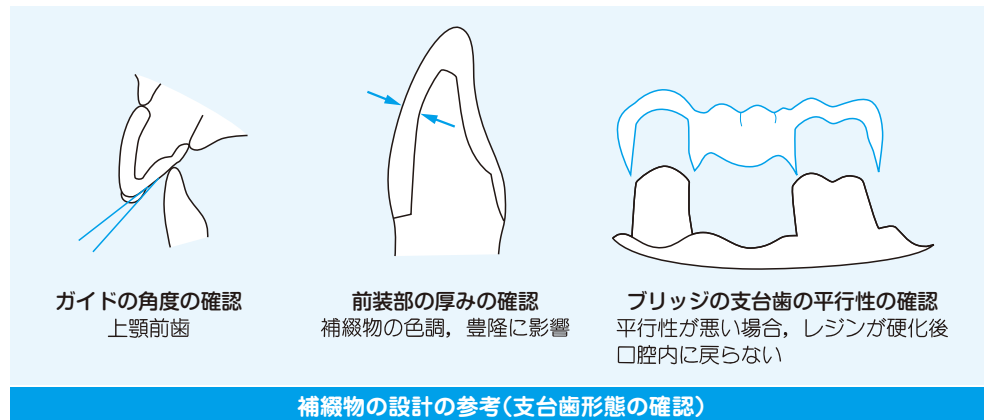
# プロビジョナルレストレーション

(テンポラリークラウン・ブリッジ)

## 臨床的意義

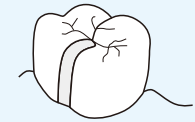
隣在歯との関係、咬合接触関係、歯冠形態は最終補綴物とほぼ一致する。

- 1 歯髄、歯質、歯周組織の保護
- 2 支台歯、隣在歯、対合歯の移動、挺出の防止
- 3 咀嚼、発音機能、審美性の維持、改善
- 4 歯肉圧排……………過度に行うと歯肉退縮を招く。
- 5 補綴物の設計の参考…歯冠形態の確認(特に前歯部)、ガイドの形態、角度の確認、(支台歯形態の確認) クリアランスの確認、前装部の厚みの確認、ブリッジの支台歯の平行性の確認、など。
- 6 形成面の汚染防止



## 種類

- 1 即時重合レジンで製作したもの
- 2 既製レジンキャップを用いて、内面を即時重合レジンで修正したもの
- 3 既製のアルミキャップ
  - ▶ 円筒形のアルミキャップの辺縁をハサミでトリミングして支台歯辺縁に合わせ、咬合させる。
  - ▶ 内面の空隙は仮着材で満たす。
  - ▶ 白歯部のみで製作時間のないとき。
  - ▶ 短期間の使用に限定。
- 4 除去したクラウンの利用
  - ▶ 軸面を切断して除去したクラウンの切断部分を即時重合レジンで修復して利用。



除去したクラウンを利用して製作したテンポラリークラウン

## 即時重合レジンによるテンポラリークラウンの製作法

- 1 模型上での製作
 

模型上であらかじめ支台歯の概形成をして製作する場合、メタルコア製作後の模型上で製作する場合など。

  - (1) 模型に分離剤(ワセリン)を塗布して即時重合レジンを筆積みし、歯冠形態を整えておく。
  - (2) 口腔内で支台歯形成後に内面にレジンを盛り圧接、修正。
  - (3) 隣接面、咬合面の調整。

